

# 順天堂医院ニュース 2022 NO.80

## 新任教授紹介

## 産科・婦人科

このたび 2022 年 4 月 1 日付で順天堂大学大学院医学研究科産婦人科学の教授に就任いたしました。

産婦人科は、産科、婦人科、生殖医学、女性医学など幅広く女性の疾患を治療しながら、女性の健康の維持に貢献致します。

私の専門は生殖内分泌であり、とくに卵巣老化による卵巣機能不全、40 歳未満で閉経する早発卵巣不全の方に対する不妊治療の研究開発と臨床応用を行っています。近年の社会構造の変化による晩婚化の影響により、高齢不妊の方が急増しています。そのような方の不妊の主な原因は卵巣の老化による機能不全と卵子の質の低下です。また、早発卵巣不全の方においても一昔前は、数人子供を生み終えてから、早く閉経してしまったような女性が、昨今は閉経してから妊娠を考えるような状況になっています。

卵巣機能不全、早発卵巣不全の方が自分の卵子で妊娠することは非常に困難で、これまで海外で提供卵子を用いた体外受精治療を受けることが唯一の確立された治療法でした。しかし、多くのカップルは自分たちの遺伝子を引き継ぐ子供を希望していらっしゃいます。そのような背景の中、私達のグループはたとえ閉経した女性でも自分の卵子での妊娠が期待できる方法を開発し、その臨床応用をおこなっています。また、卵巣老化による卵巣機能不全に有効な方法も開発し、個々のカップルに最適な治療をご提案します。

不妊症の原因には種々のものがありますが、卵巣が原因となるものには、卵巣の病気（子宮内膜症、多嚢胞性卵巣症候群）もあり、当院では、腹腔鏡手術のエキスパートの医師達と治療にあたっています。卵巣の病気によっては、病気そのもので卵巣機能が低下するものや、卵巣に対する手術後に卵巣機能が低下して不妊となることがあります。このような患者様に対して、妊娠の能力（妊孕性）を残したまま、卵巣の病気を治療する最良の医療を提供しています。

当院では、看護師、胚培養士とともに不妊のカップルが抱える悩みや不安を解決しながら、不妊クリニックではできない最先端の医療を提供致します。不妊治療は年齢が上がれば上がるほど成績が低下し、より高度な治療が必要となってしまう。早期に受診頂ければ、ご負担の少ない治療から始められますので、まずは気軽にご相談ください。



産科・婦人科  
河村 和弘



順天堂医院HP【産科・婦人科】

各記事にあるQRコードを読み込むことで、各診療科および各部署のHPを開くことができます。ぜひ、ご活用ください。



順天堂医院HP

この度、2022年4月1日付けで麻酔科学教授を拝命いたしました。麻酔科は一般には馴染みの少ない診療科ですので、少し麻酔科の説明をさせていただきます。麻酔科は主に手術麻酔、ペインクリニック、集中治療と3つの診療分野があります。多くの手術では体にメスをいれるため、痛みとストレスが生じます。手術麻酔では痛み止め(麻薬や局所麻酔薬など)で痛みを軽減し、全身麻酔時は眠り薬でストレスから患者さんを守ります。手術による痛みにより血圧が上がれば、痛み止めを調整し、逆に出血などで血



麻酔科・ペインクリニック  
長島 道生

圧が下がれば循環作動薬や輸液、輸血で迅速に対応しています。全身麻酔では呼吸も弱くなりますので人工呼吸など呼吸管理も行います。麻酔科医は麻酔中に患者さんのそばでこのような全身管理を行っています。手術麻酔で培った知識、技術を発展させ、ペインクリニックでは痛みの専門家として、集中治療では重症患者の治療の専門家として活動しています。

私は集中治療を専門としております。集中治療は手術麻酔やペインクリニックにくらべ、なかなかイメージができない分野だとは思いますが、全身麻酔後に継続して呼吸や循環などの高度な管理が必要な患者さんや、手術後以外でも重症な患者さんを集中治療室(ICU)に集め、主治医の先生と協力して治療を行っております。特に当院では、先進的な手術や治療を高齢の患者さんや併存疾患の多い患者さんに対して行っており、集中治療の必要性は増加していくと考えています。集中治療室に入室される患者さんにお役に立てるように精進して参りますので、どうぞよろしく願いいたします。



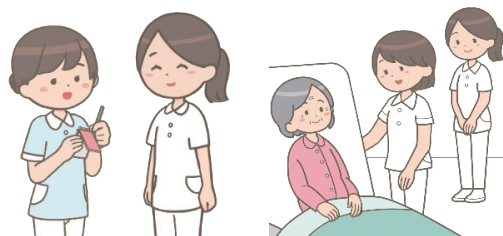


## 看護学生の病院実習について～次世代を担う看護師を育てています～

順天堂医院では、毎年延べ 550名程の看護学生の実習を受け入れています。学生にとって病院実習は教科書では決して学ぶことが出来ない貴重な経験の場です。当院では看護師を目指す学生が、患者さんの回復を支える看護師として成長できるよう臨床指導看護師が支援をしています。実習では、看護師と共に学生が患者さんの病室に伺いケアを学びます。指導者は患者さんに安心して治療を受けていただけるよう療養環境を整え、看護の基本をしっかりと伝えることを目標に学生との学びを大切にしています。

新型コロナウイルス流行下においても、学生は限られた時間の中で一生懸命、実習に臨んでいます。患者さんの中には、看護学生との思い出や、かわりを語ってくださる方もおられます。看護学生だからこそできるかわりが、患者さんの癒しにつながっており、私たち自身が初心を思い出し、学生に学ぶ瞬間でもあります。

次世代を担う看護師のタマゴたち、ぜひ応援いただきますよう宜しくお願いいたします。



## 水分補給は 早めに こまめに!



マスク生活が続いておりますが、マスクの着用により、体内に熱がこもりやすくなったり、マスク内の湿度が上がるため、喉の渇きを感じづらくなり、脱水状態に気が付きにくい状況になりやすいと言われております。

体内の水分が不足する「脱水症」になると、「熱中症」や「血栓」を作りやすくなることで「脳梗塞」「心筋梗塞」の発症に関与するなど、様々な健康障害を引き起こす一因となります。

予防には、こまめな水分補給です。喉の渇きは、脱水症状が始まっている証拠であり、渇きを感じる前に水分を摂ることが大切です。水分が不足しやすい、就寝前、起床時、スポーツ中及びその前後、入浴の前後、飲酒中あるいはその後に、水分を摂ることが重要とされています。



なお、腎臓・心臓病等の疾患治療中には、水分の摂取について注意が必要な場合があります。

医師の指示に従いましょう。



## 食事による血糖値の変動と採血のタイミング

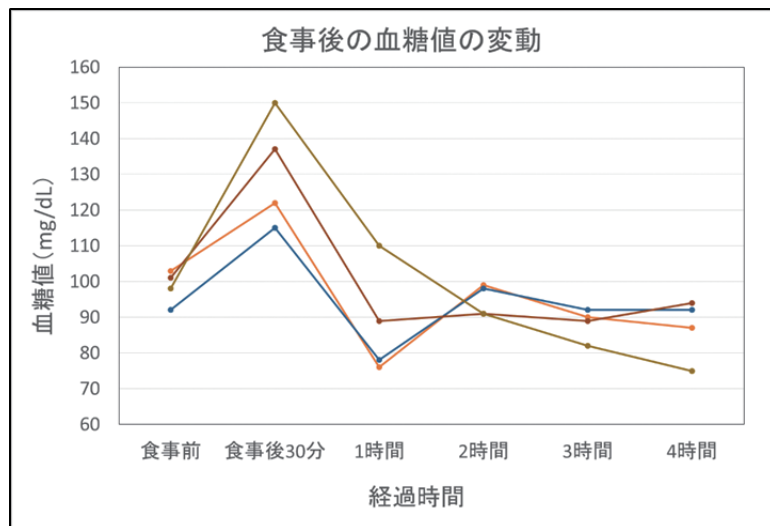
### ～空腹時採血と随時採血～

血糖値は、血液に含まれるブドウ糖（グルコース）の濃度のことです。食事の炭水化物が消化吸収されてブドウ糖となり、血液に入ってエネルギーとして利用されます。

下のグラフは、健康なボランティア4名の食事前（絶食12時間以上）、食事後30分、1時間、2時間、3時間、4時間の血糖値を測定した結果です。健康な人でも、血糖値は食事後30分で上昇し、空腹時の基準範囲（65～109 mg/dL）を上回り、食事後2時間程度で食事前と同等に戻ります。

血糖値が上手くコントロールできない場合、食事後の血糖値が下がりづらくなります。その時は、空腹時採血ではなく、随時採血（食事の時間に関係なく採血）で血糖値を測定する場合があります。

診察に必要な検査結果を得るために、次回の採血は食事をとってよいか指示を確認しましょう。





今回は、新たに導入された X 線動態撮影、装置名：KINOSIS (KONICA MINOLTA) について紹介させていただきます。

### 【X 線動態撮影とは】

既存の一般撮影装置を用いて 20 秒間連続撮影をすることで、呼吸している時の肺の動きを観察する事が出来ます。肺の X 線透過濃度の変化、呼吸をするための横隔膜の動きの変化を専用の解析装置を用いて下記の解析が可能となります。検査時間は呼吸の練習を含めて約 10 分程度となります。

### 【解析処理】

肺血流、肺の動きの低下領域・癒着の有無、肺野面積などが解析できます。

#### 1. 肺血流

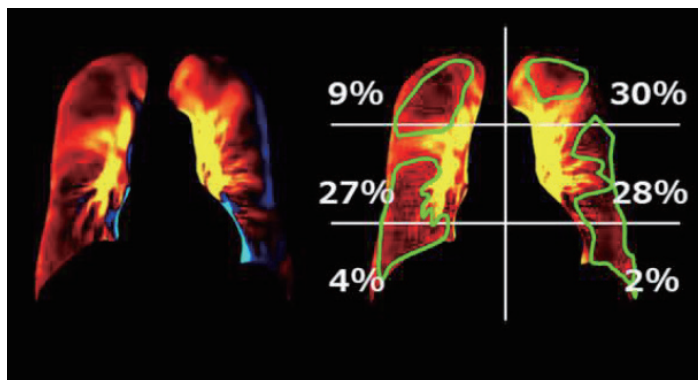
信号値変化を解析することで、血流低下部位を可視化できるようになり、他検査と併用することで肺血栓症などの診断に役立ちます。(図1)

#### 2. 肺の動きの低下領域・癒着

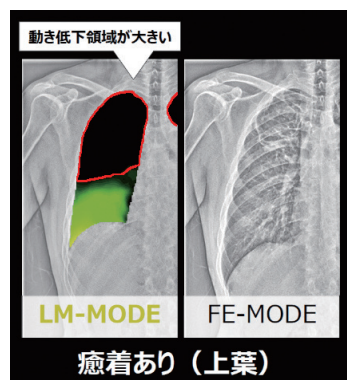
呼吸運動の解析から癒着の有無と程度の評価ができるため、手術時間の短縮などが期待できます。(図2)

#### 3. 肺野面積

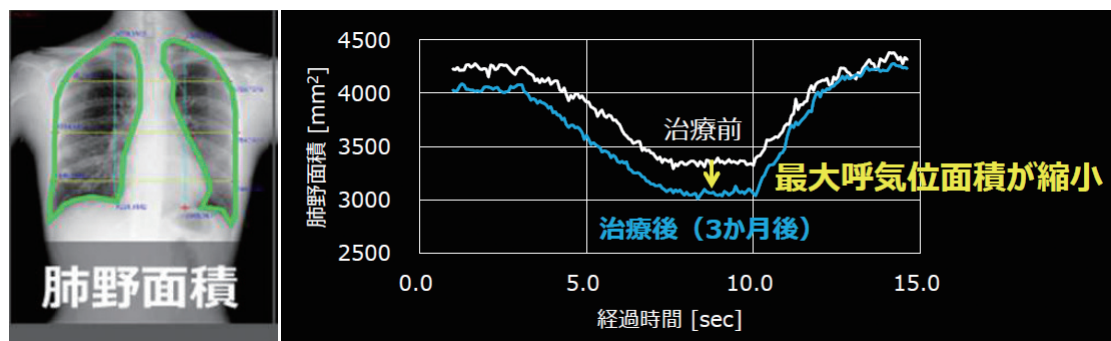
肺野面積の比較から、呼吸機能の改善・悪化を定量評価できます。(図3)



(図1) 肺血流低下部位の解析画像



(図2) 癒着部位は赤丸



(図3) 肺野面積の解析から治療前・後の比較

提供：© KONICA MINOLTA





薬のよくあるお問い合わせにお答えします。



◆湿布薬の説明に「日光にあたるのはなるべく避けてください」と書いてあるのはなぜですか？

《答え》

「光線過敏症」という副作用が起こる可能性のある薬に記載があります。湿布を貼っていた部分に直射日光が当たってかぶれを起こす方がいます。

「光線過敏症」の一種で、「光接触皮膚炎」といいます。

薬の成分が、湿布等を剥がした後も皮膚に4週間程度残るといわれているので、剥がした後も、衣類等で皮膚を保護するなど、注意が必要です。

また、塗り薬でも同様に注意の必要な薬があります。



【湿布薬や塗り薬だけ注意すればいいの???】

頻度は少ないですが、飲み薬の中にも注意の必要な薬剤があります。服用後に日光の当たった皮膚に発疹が広範囲にわたって出るのが特徴です。

「光線過敏症」の一種で、「光線過敏型薬疹」といいます。

湿疹の原因の判断は難しいので、症状が悪化する前に受診してください。



当室では「退院援助」や「制度」などのご相談をお受けしています。

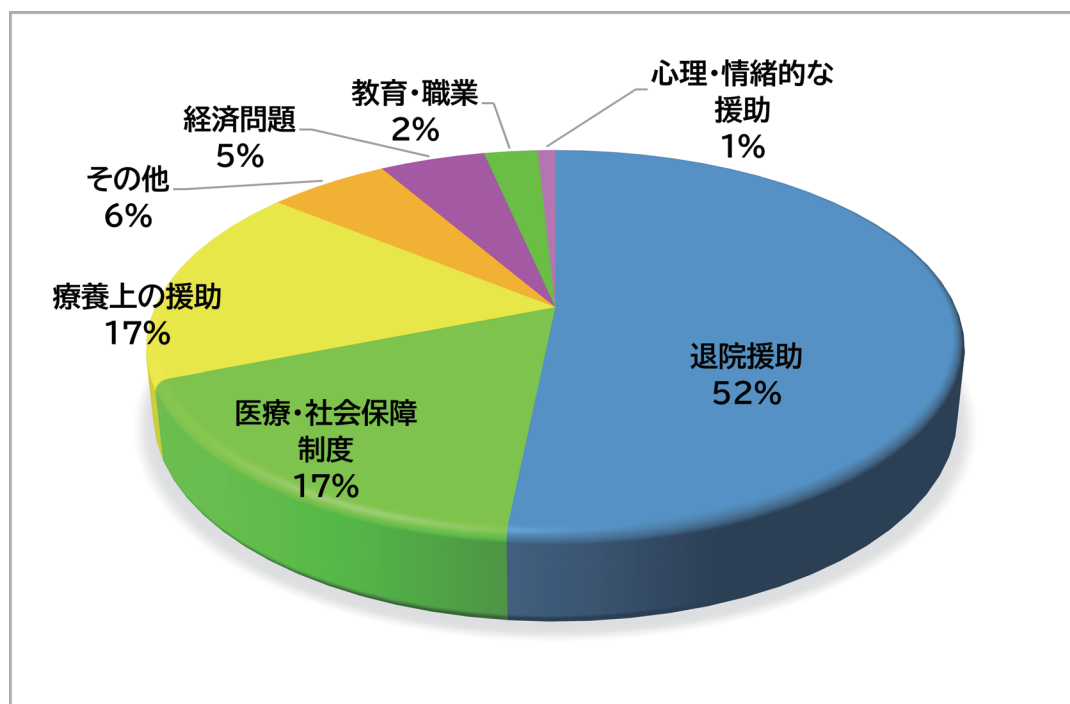


図1 《2021年度 相談内容別件数 1,808件の内訳》

昨年度当室で新しく受けた相談内容別件数は、1,808件（図1）、延べ取り扱い回数は32,928回でした。相談件数の多い順に、**退院援助**（リハビリテーション病院や療養型病院への転院や介護施設への入所、在宅医療や訪問看護の利用等）のご相談や、**医療・社会保障制度の活用**（医療費や生活費の心配や、福祉サービスの利用等）のご相談などがあります。

当院にはいくつかの相談部門がありますが、「医療福祉相談室」では、治療・療養生活に伴って生じるさまざまな心配事に対して、ソーシャルワーカーが患者さんやご家族と一緒に、医療・社会保障制度や福祉サービスを活用しながらご相談に応じています。当室でのご相談を希望される場合は、事前にご予約をお願いいたします。

なお、退院援助に関しては、「患者・看護相談室」とともにご相談に応じており、退院後の療養生活についてのご相談を希望される方は、適切な部署でお手伝いができるように、まずは入院されている病棟の看護師にその旨お声かけ下さい。

医療サービス支援センター 医療福祉相談室 直通Tel：03-5802-1207

今日からはじめる

健康講座



7  
月号



総合診療科 教授  
小林 弘幸

## 自律神経失調症～コロナ鬱と 梅雨明けの気候変動から

いよいよ夏本番を迎えますが、コロナ禍で不安な状態が2年以上続き、梅雨時のスッキリしない気候も相まって、不調を感じておられる方も少なくないのではないのでしょうか。近年、自分は大丈夫だと思っても、倦怠感、めまい、頭痛、食欲不振、下痢・便秘など、いわゆる自律神経失調症の症状がある方が多く見受けられます。些細な症状でも放置しておくとし、次第に慢性化し、様々な大病の引き金になる恐れがありますので、日常生活の中で自律神経のバランスを整えることを意識してみてください。

まずは、朝食を毎日食べることが鍵となります。朝目覚めて、太陽の光を浴び、朝食をとることで、体内時計がリセットされ、自律神経のスイッチが入ります。忙しくても、何か少しでも口にする習慣をつけると良いでしょう。次に、軽い運動です。これまでは通勤で最寄りの駅まで歩いたり、駅の階段を使ったりと、自然と体を動かす機会がありましたが、リモートワークなど家で過ごすことが多くなると、身体活動量も減ります。運動量が減っていることに気づいたら、近所を散歩したり、家の中でスクワットをしたり、足の筋肉を意識的に使うようにしましょう。最後は呼吸です。呼吸には1:2の法則があります。鼻から3秒間吸って6秒で口から吐く呼吸のリズムは、副交感神経の働きが高まるため、乱れた自律神経の働きを回復することができます。

快適な夏を過ごす身体づくりのために、毎日の習慣を少しだけ意識してみましょう。

順天堂大学医学部附属順天堂医院

〒113-8431 文京区本郷3-1-3

TEL : 03-3813-3111 (大代表)

編集 広報管理運営委員会

発行 事務部 管理課 (2022年7月発行)

ホームページ

<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>

順天堂医院

検索



【順天堂医院HP】